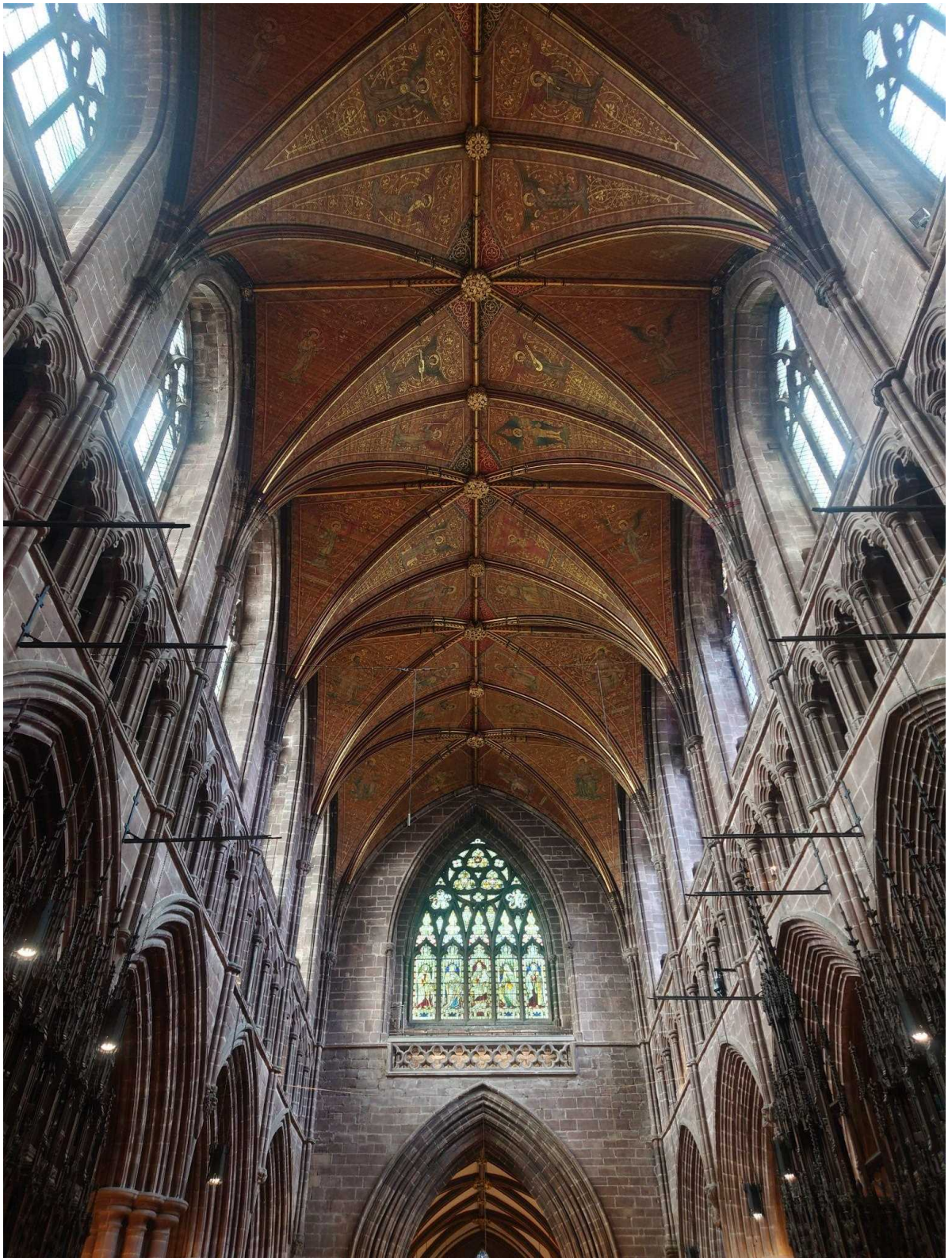


熊本大学海外派遣留学生 報告書
(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	非公開		
所属	_____工_____学部・大学院_____情報電気工_____学科・専攻		
留学先機関名	バンガー大学 (国名： イギリス)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 08 月 30 日－ 2023 年 09 月 21 日	留 学 開 始 時 学 年	__2__年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		





1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 ()		
勉強方法	大学の授業のみ		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☒ プログラム費用 300000 円 ☐ 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 300000 円 ☒ 海外旅行保険料 7500 円 ☒ 食費 5000 円 ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA/ターキッシュエアラインズ	手配	国際大学連合に手配してもらった ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本-羽田-イスタンブール-マンチェスター	到着時刻	13:00 【※移動時間(約27時間)】
大学(寮)への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	不明		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルームメイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	風邪対策のものをもっと持って行くべきだった。自分の携帯電話プランに無料データローミングがついていたが日数制限があったため細かいところまで読むべきだった、気づいたのが少し遅れた。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	授業は生徒が全員日本人で先生が大学の先生というだけでディスカッションも日本人同士で現地学生との交流は全くなかった。また、フィールドワークでは複数人行動を強いられることもあり団体旅行のようでもっと日本人以外と交流したかった。スケジュールは平日でも時間的に余裕がありよかったと思う。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	風邪を引いたときに現地の薬をもらうことができ、自分では何をどこで買えばいいかわからなかったためありがたかった。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	特になし
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	ホストファミリーに近くの観光地に連れて行ってもらった。風邪をひいてフィールドトリップを欠席したときに行った場所に好意で連れて行ってくれた。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学成果

イギリス及びウェールズの家庭にホームステイして生活することで現地の言葉遣いや風習を感じることができた。外国に旅行に行くことはあっても大都市以外に訪問して、そこで生活することはめったにない体験であるため自分の人生経験として色々と考えさせられることがあった。

また、ホストファミリーには大変お世話になり帰国後も連絡を取り合っていて、メールのやり取りを英語で行うことで英語表現の勉強を進んではいることができる。

他には、以前から検討している長期留学に前向きな気持ちを持つことができた。特に自分が外国の生活に慣れるのかどうか、英語がわかるのだろうかといった漠然とした不安が払しょくされた。自分の語学力のレベルを知るいい経験になった。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

アドバイス

この短期留学プログラムでは英語力の向上はほとんど期待できなかったため、語学力の向上を求めることはできないと思う。ただし、現地の英語に触れることで自分の英語力のなさを痛感して英語の勉強をするモチベーションにはなりうると感じた。また、将来留学や外国に住んでみたいなどを考えてる人にとってはお試し期間のつもりで行くと自分が外国の暮らしに慣れるのかや自分の語学レベルを知るいい経験になると思う。

さらに、バンガーは有名な観光地ではないためイギリスの一般的な田舎の生活を知ることができる貴重な経験だと思う。

留学を通しての感想

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	非公開		
所属	法 学部・大学院 法 学科・専攻		
留学先機関名	バンガー大学 (国名： イギリス)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 8 月 30 日－ 2023 年 9 月 22 日	留学開始 時学年	4 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☒ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	本やアプリを活用して、主にリスニング力の強化を行った。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☐ プログラム費用 302,000 円 ☐ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) 0 円 ☐ ビザ申請 0 円 ☐ 渡航費 (☐ 片道 ☒ 往復) 287,930 円 ☐ 海外旅行保険料 8,792 円 ☐ 食費 34,000 円 ☐ その他 (お土産、観光) 90,000 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	羽田、ターキッシュエア ラインズ	手配	国際大学連合が手配 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→東京(飛行機)→イス タンブール(飛行機)→マン チェスター(飛行機)→バン ガー(バス)	到着 時刻	13:30 【※移動時間(約19時間)】
大学(寮)への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関 (☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	イギリスについてからは日本人スタッフが引率してくれるので 安心でした。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	洗濯の回数が私のステイ先は5日に1回程度だったので、下着や 靴下を多めに持っていくことをおすすめします。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	学生はいろいろな大学の日本人学生で、先生が現地の外国の先生でした。学生が日本人のみで、現地の学生と交流する機会がなかったので思ったより英語で話す機会は少なかったです。授業内容は、ウェールズの歴史について、ブログの書き方について、フィールドワークで訪問する場所について、要約の授業等様々でした。選択制の特別プログラムでは、お菓子作りやアクセサリー作り、政治についての授業、現地の小学生に習字や折り紙を教える授業等もありました。フィールドワークでは、お城や町でショッピングをしました。週に 4 回ほどフィールドワークがあり、想像以上にフィールドワークが多かったです。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	学校には常時日本人のスタッフが 3 人ほどいたため、困った時にはすぐに相談できます。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	特になかったと思います。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	リバプールやロンドンに旅行したり、ホストマザーと一緒にハイキングやピクニック、ビーチやカフェに行ったりしました。リバプールは日帰りでも行ける距離にありますが、ロンドンは宿泊でないと行けない距離です。私は留学のメンバーに元々友達の子がいたのでその子と事前にロンドン旅行の計画を立てていましたが、ほとんどの人たちは現地で知り合った学生同士で直前に予定を立てて行っていました。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

語学力に関しては、3週間では不十分であり、また学生は日本人だけなので予想以上に日本語をメインに話すことになると思います。英語を話す場面はホストファミリーとの会話が中心になるので、自分からコミュニケーションの時間を増やすことが重要だと思います。ただ、私自身は英語でコミュニケーションを取れる楽しさを感じ、英語を今後も学ぶことへのモチベーションが高まりました。また、自身の拙い英語スキルでもコミュニケーションを取ることができたことが自信となり、海外への心の壁が無くすることができました。

プログラムではフィールドワークが非常に多いので、いろんな場所を回りたいという人は楽しいと思います。イギリスは建築物や街並みが美しく、アートも盛んなので、非常に魅力的な街でした。

また、イギリス人は非常に友好的で知らない人同士でも気軽に声をかけたり、手を挙げることを恥ずかしい考えない外交的な性格で、日本人との価値観の違いを感じることができました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

きりがないとは思いますが、英語力（リスニング力、スピーキング力）はなるべく高めていった方が、ホストファミリーとの会話をより楽しんだり、英語での授業を有意義なものにできると思います。ただ、全然英語が話せなくても意外とどうにかなるので、語学力を不安視して留学を諦める必要は全くないと思います。

プログラムに関しては、前述の通り学生は日本人のみで、授業でもフィールドワークで観光名所を見たりショッピングをしたりする機会が非常に多いです。英語にどっぷりついて語学力を高めたい！というよりは、日本と異なる環境に身を置き、イギリスの文化や価値観を知ったり街や建築物を見たい、という人向けかな？と思います。

留学を通しての感想

観光は自分でもできても、海外で日本と異なる生活環境に身を置く経験は留学ないしホームステイでしかできないと思うので、非常に有意義な経験ができました。

熊本大学海外派遣留学生 報告書
(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	非公開		
所属	法 学部・大学院 法 学科・専攻		
留学先機関名	バンガー大学 (国名：イギリス)		
参加プログラム区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 9 月 7 日－ 2023 年 9 月 22 日	留学開始 時学年	4 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☒ その他 (熊本大学国際化協力事業費)		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他()		
勉強方法	単語の復習		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☒ プログラム費用 30万円 ☐ 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 0円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 20万円 ☐ 海外旅行保険料 7千円 ☐ 食費 2万円 ☐ その他(お土産) 5万円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	AIRFRANCE	手配	国際大学連合さん ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本空港⇨羽田空港⇨シャル ドゴール空港⇨マンチェスタ ー空港	到着 時刻	17時頃 【※移動時間(約15時間)】
大学(寮)への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☒ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他()		
空港から移動する際 の注意点 行き方、料金等			
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()

その他生活に必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	・洗濯の頻度が家によってバラバラ（日本よりかなり少ない）ので、下着類や靴下は多めに持っていくと思います。 ・タッチ決済できるクレジットカードはとても便利でした。
--	---

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	教室で受ける授業では、英語の文法や会話をする上での注意点、新聞の見方やウェールズの歴史について学びました。 フィールドワークでは、お城や刑務所、観光地に行きました。また、アクセサリー作りなどもしました。 丸一日座学の日は少なく、午前中は座学、午後はフィールドワークというスケジュールの日が多かったです。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	私は遅れて参加をしましたが、気を遣っていただきとても助かりました。ホームステイで困ったことがあった人も大学に相談してサポートしてもらっていました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	週末に友人と個人旅行としてロンドンやリヴァプールに行きました。自分たちで行きたいところを探して日本にいる間にホテルや電車は予約をしていました。 また別の週末には、ホストマザーがアートギャラリーに連れて行ってくれたり、ハイキングに行ったりしました。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

語学の面では、大学入試のために猛勉強していたはずでしたが、単語も文法も忘れていくものが多く、苦勞しました。特にリスニングは大変でした。ホストマザーや学校の先生はゆっくり話してくれるのでなんとか聞き取れても、お店やスーパーなどでは全く聞き取れませんでした。留学に行く前には英語を聞く力を特に磨いておくといいと思いました。

ただ、言語面で伝えるのが難しくても、写真を見せたりジェスチャーをしたりして伝えようと努力をすれば、相手もなんとか意図を汲み取ろうとしてくれました。翻訳アプリをできるだけ使わず、自分の力で伝えようと試みるのが大切だと感じました。

**同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関する
こと、生活全般に関する事など自由に記載してください）**

日本での生活とイギリスでの生活は、自分が想像していたより多くの違いがありました。箸で食事をしないことや芋やパンが主食であることはもちろん、生活面では洗濯の頻度が日本の家庭とは全く違っていました。イギリスと日本の文化の違いだけでなく、気温や天気などの違いから来ているのだと思います。こういった違いが私にとってはとても興味深く、新鮮でした。留学に行くとなると英語力の向上のため、というイメージが強いと思いますが、このような生活や文化の違いを知るといっても、とてもいい経験になると思います。

また、3週間で英語を話せるようになるというのはほぼ不可能だとは思いますが、少しですが聞く力は向上したように感じています。この変化を無駄にしないように、留学から帰ってきてからの勉強が大事になると思いました。頑張ります。

ぜひ参加してみてください。

留学を通しての感想

3週間という短い期間ですが、参加してみて本当に良かったと思っています。イギリスでは人々がどういう暮らしをしているのか、どんなものを食べているのか、肌で感じることができました。

また、私の内定先の職場は英語を使うような仕事ではありませんが、いつどこで何があるか分からないので、色々な人とコミュニケーションを取るために、英語をまた学び直そうと思えました。それだけでなく、授業でウェールズの歴史を学んだことで世界史も学び直したいと感じ、また、観光地に行って大聖堂やお城を見たことでそれらの建築様式にも興味を持ちました。このようなイギリスの歴史や建造物も含め、世界の歴史や世界遺産などの知識も増やしていきたいと思いました。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	非公開		
所属	____ 教育 ____ 学部・大学院 ____ 英語 ____ 学科・専攻		
留学先機関名	バンガー大学 (国名:イギリス)		
参加プログラム 区分	☒ 協定校サマープログラム ☐ 語学セミナー ☐ その他 :		
留学期間	2023 年 8 月 30 日－ 9 月 21 日	2023 年 留学開始 時学年	____ 2 ____ 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 ____ 期】 ☐ その他 ()		

写真貼付

(枚数制限なし)

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	毎日単語を覚え、会話に必要なフレーズを覚え、洋画を英語字幕で見るようにしてリスニングのトレーニングをしていました。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☒ プログラム費用 230000 円 ☐ 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 287000 円 ☒ 海外旅行保険料 1750 円 ☒ 食費 10000 円 程度(ランチ代のみ) ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ターキッシュエアラインズ	手配	IFU ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→東京羽田→イスタンブール→マンチェスター	到着時刻	8月31日午後1時頃 【※移動時間(約20時間)】
大学(寮)への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	今回は IFU の皆さんが手配してくださったバスを使用したため、料金は発生せず、乗り換え等ありませんでした。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルームメイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	大きな都市に行くと危険な場所もあるので、多くの現金は持ち歩かない方がいいと思います。現金のみの場所はほとんどなかったので最低限の両替で大丈夫だと思います。カードは念のため二枚、別々に保管して持っていくと安心化と思いました。海外SIMを選ぶ際は、空港で購入すると安全ですが、電話番号がついていないものもあるので、可能であればホストファミリーと連絡が取りやすいためついているものをご購入することをお勧めします。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	授業は基本的に毎日ありますが、少し遠い場所だと前日に学んだことを踏まえて、次の日に一日中フィールドワークに行く日もあります。初日のテストによりクラス分けを行い、基本的にそのクラスでウェールズの歴史や critical thinking（英語を学ぶ意義）の学習を行います。フィールドトリップでは、午前中にお城やスレート の歴史を学んだあと、午後にウェールズの古城であるカナーヴォン城やコンウィ城、ウェールズ人であるペンウィン一族の持ち家であるペンウィン城、スレートミュージアム等を訪れました。1日かけて行ったフィールドワークはウェールズを離れチェスターという大きな都市を訪れ、スランディドゥノという場所でアフタヌーンティー体験などを行いました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	住居はホームステイで、日本人をなん度も受け入れたことのあるご夫婦で、素敵なお部屋で日常の生活も特にトラブルもなく過ごせました。家によってシャワー時間は5分、バスタオルの洗濯は週に1回など中々日本の生活とは違う生活習慣のご家庭もあるようでしたが、私のホームステイ先では特にそういったこともなく、毎晩おいしいご飯を作ってくださいました。学校生活における語学面のサポートも充実しており、英語が苦手な方でも全く心配は要らないほど日本人スタッフによるサポートが手厚いと感じました。それゆえに、より高い語学力を身につけるにはホストファミリーと過ごす時間が非常に重要だと思います。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	特に難しい手続きはありません。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	日はほとんど毎日、ホストファミリーと一緒に出かけをしました。ウェールズ内の観光地であるカナーヴォン城やスランディドゥノへの買い物、ナショナルトラストの保護地などにはホストファミリーが車で連れて行ってくれました。また、ホストマザーの出身地が近くだったということもあり、私自身 Beatles が好きということをお伝えするとリバプールまで車と電車を使って一緒に行ってくれました。週末、人生で一度は行ってみたいと、ロンドンまで行った際には学生たちだけで、電車を使って行きました。トレインラインというアプリを使用しました。地下鉄を利用する際はおそらくロンドン内のほぼ全ての駅でタッチ決済のカードが使えます。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学成果としては、これまで全く知らなかったウェールズについて知ることができたこと、critical thinking の授業で英語を学ぶ意義についてより考えることができたこと、「恥ずかしい」とか「周りの誰かがしていないから私もしない」のではなく、聞きたいことや言っておきたいこと等はしっかりと、質問、発言すること、いわゆる「同調圧力」に屈しないことが重要だと言うことを学びました。初めて海外に長期滞在したということもあり、日本での生活、日本人の感覚と違う部分は少々ありましたが、それ以上に多くの人と関わって人の温かみに触れることができて、良いことはなんでも口に出して、小さいことでもなんでも人の良いところに目を向けて褒めていて、そうした部分は吸収し、帰国後も続けていきたいと思いました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

周りに日本人が多くいたとしても、日本人ばかりと群れすぎないことが大切だと思います。せっかく留学に来ているのですから、語学力向上という意味でも、それ以上の様々な価値観を学ぶという意味でも、現地の人と積極的に関わることが大切だと思います。私はホームステイ先に帰ると、自分の部屋に籠ることはほとんどなく、必ずホストファミリーと会話して、ホストファミリーがどこかに少し買い物に出かけるだけでも着いていくようにしていました。そうすることで地域の人とも温かい関係を築くことができたし、casual English を身につけることができました。

留学を通しての感想

留学を通して、人の温かみを実感しました。毎朝「今日も素敵な服だね」「今日もあなたは素敵だよ」と褒めてくれて、街の人たちもすれ違ったら、「ハーイ、ユウナ！」と声をかけてくれて、差別や偏見を持つことなく接してくれました。この経験は自分について見つめなおす機会になりました。日本は移民の受け入れを制限していることもあり、以前より外国の方が増えてはいるものの、やはり多民族国家とはいえず、積極的に権利の関係上移民を受け入れている英国の人々よりも「自国」と「他国」の線引きをしているのではないかと日本人という民族についても、国境についてもより考える機会となりました。また、今現在も英国に残って頑張るほかの留学生との出会いがあったおかげでもっと頑張ろう、と良い刺激をたくさん受けました。人生で一度は行ってみたいと思っていたロンドンやリヴァプールにも行けて、貴重な経験をすることができました。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	非公開		
所属	_____ 薬 _____ 学部・ _____ 薬 _____ 学科		
留学先機関名	バンガー大学 (国名: イギリス)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他:		
留学期間	2023 年 8 月 30 日ー 2023 年 9 月 20 日	留学開始 時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☒ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		

写真



貼付

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	単語帳を確認しました。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用（おおよそ その費用）	☐ プログラム費用、宿泊費用（寮／ホームステイ等） 300000 円 ☐ 渡航費（往復） 29000 円 ☐ 海外旅行保険料 18000 円 ☐ 食費 10000 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA、TURKISH AIRPORT	手配	国際大学連合 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	飛行機	到着 時刻	09 : 35 【※移動時間（約 19 時間）】
大学（寮）への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☒ 公共交通機関（ ☒ バス ☐ 電車） ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	国際大学連合に手配していただいたのでわかりません。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☐ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他(国際大学連合)
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	特になし		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	授業：バンガーやウェールズについての英語での講義 フィールドワーク：チェスター等にバスで遠出
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	日本人の国際大学連合の方がクラスやホームステイ先のこと、両替のことまで相談に乗ってくれたことで基本的に困ることはなかった。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	何もなかった。国際大学連合の方が手配してくれていた。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	私の場合は土日になると、マンチェスターでサッカーを見たり、ロンドンで大英博物館やビッグベンなどの観光地に友人と一緒に足を運んだ。最初の週末だけはホストファミリーがおすすめの場所に連れて行ってくれた。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

私はこれまでイギリスに関して周りの意見を鵜呑みにして危険が多い国だと捉えていましたが、実際には現地の方々にも助けられ自分の中でイメージが大きく変わりました。渡航前は自分の英語に自信がなく話すことにためらいがありましたが、現在ではかなり自信をもって話すことができるようになりました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

文化の違いに不安を抱いたり実際に体調が悪くなることもあるかもしれませんが、その際は、すぐに周りの人に相談してください。必ず助けてもらえます。

留学を通しての感想

私にとっては初めての海外だったのですが、周りの方々に助けていただいたおかげでも充実した時間を過ごすことができました。また、イギリスに行きたいと思います。

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

A night photograph of the Palace of Westminster and Big Ben in London. The building is brightly lit with warm yellow lights, and its reflection is visible in the dark water of the River Thames. The clock tower (Big Ben) is also illuminated, showing the clock face. The sky is dark, and the overall scene is a classic night view of the London skyline.

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☐ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☐ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	大学の授業以外では特に勉強していません。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☐ プログラム費用 60 万円 ☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費(☐ 片道 ☐ 往復) 円 ☐ 海外旅行保険料 円 ☐ 食費 円 ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA、Turkish Airlines	手配	※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→羽田→イスタンブール→マンチェスター	到着時刻	現地 9:30 分頃 【※移動時間(約 20 時間)】
大学(寮)への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	事前資料に詳しく書かれているので、資料どおりに行動すれば大丈夫です。		
宿泊先	☐ 寮 ☐ ホームステイ その他()	宿泊手配	☐ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☐ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルームメイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	キャッシュレス化が進んでいるため、現金を使う機会はあまりありませんでした。クレジットカードを使う機会が多かったため、複数持っていくといいと思います。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	授業中も英語で説明等されますが、先生たちも分かりやすい単語を使ってくれたり、聞き取りやすいためそこまで心配は必要ないと思います。3回ほど自分の興味のある授業を選択する機会がありました。フィールドワークでは現地の名所を訪れて、自由時間では様々なことができ充実した時間が過ごせました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	日本人のスタッフの方が常時数名いてくださるので、生活面などでもサポートしてくれます。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	なし
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日はホストファミリーが観光地に連れて行ってくれたり、友達とロンドンに行ったりしました。平日の放課後も時間があれば学校の周辺や遠出をしたり、家の近くを散歩したりしました。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

ある程度文法や単語が間違っているにもかかわらず、伝えたいことは伝えることができると感じました。3週間英語に触れると、最初よりも少し上達することができたと感じます。最初にも言ったようにある程度間違えても伝わるので、失敗することを恐れず積極的にコミュニケーションすることが大事だと思います。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

イギリスは自分が思っていたよりも治安が良く、過ごしやすかったです。食事もおいしいものが多かったです。英語力は日常会話ができる程度あれば不自由なく過ごすことができますと思います。英語力に不安がある人もスタッフの方がサポートしてくれるので心配する必要はないと思います。3週間という期間で達成したい目標を事前に決めていくと、充実した生活を送ることができると思います。

留学を通しての感想

行く前までは自分の英語が通じるかや、生活に慣れるかなどいろいろな不安がありましたが、ホストファミリーやスタッフの方々が優しく接してくれたので、その後は不安なく過ごすことができました。このプログラムを通して自分は英語力の向上と充実した生活を送ることを目標にしており、2つとも達成することができたと感じています。3週間という短い期間でとても充実した経験をすることができました。留学をしたことで今後の進学や就職に海外という選択肢を持つことができたことが一番収穫ではないかと思います。この留学の経験を今後にも生かしていきたいと思っています。